

そらこめ通信

No.21 2012.04発行

日頃より弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。
先月号にも書きましたが、今年の冬は本当に雪が多く、空知管内全域でビニールハウスやD型ハウスなどの被害が報告されています。被害金額は畜舎や納屋などのD型ハウスが大きいのですが、被害件数はビニールハウスの方が圧倒的に多く、管内のビニールハウス全体の実に3分の1が被害を受けているという状況です。また、今年の被害の特徴ですが、被災したビニールハウスのうち、93%はビニールを外した状態での被害で、いわゆるパイプだけの状態のまま越冬しようとして雪の重さでパイプが変形したものだそうです。一般的にビニールハウスの雪害といえば、ビニールがかかったハウスの上に一晩のうちに大量の雪が降り積もる事でハウスが変形してしまうというのが相場ですが、今年は例年と様相が全く違うようです。鉄骨むき出しのハウスは多少の雪が降っても耐えられるくらいの強度がありますが、今年の雪の量は昨年の約2倍という豪雪…。こまめに除雪をしている農家は大丈夫ですが、そうでないところは気が付いた時には既に時機を逸していて、除雪機械が入らない状態だったようで…。もしかすると、後継者不足や高齢化でこまめに除雪ができないという事情も一因として上げられるかも知れません。弊社はおかげ様で無事でしたが、被害を受けたところでは、新たなハウスを購入しようにも希望者が多すぎて資材が足りず、このままでは播種作業にも大きな影響が出るとのこと。いずれにしても、昨年大丈夫だったから今年も大丈夫…という事がないのが世の常。特に農業は自然とにらめっここの商売故に、様々な状況に合わせて臨機応変に対応しなければいけません。
毎年同じで毎年違う…。それが農業の醍醐味であり楽しさなのかも知れません。



ハウスの除雪(3月2日)～大雪だった今年は数回に分けて除雪しました。おかげさまで弊社のハウスは無事でした。



除雪がほぼ完了(3月3日)

毎年恒例の地域の神事～地鎮祭(3月11日)・・・大震災から1年が経ちました。



今年も天候に恵まれるように・・・

ハウスの組立作業(3月12日)



土壌検査の結果に基づき融雪剤をかねた土壌改良剤として天然鉱物由来の「ミネカル」を散布(3月13日から)



3月24日のハウスの状況

3月27日のハウスの状況

ビニールを広げる社長(3月27日)



ハウスにビニールを被せる作業(3月27日)～商品名「ころすけ」という器具を使って2人1組で作業を行います。



一足先にビニールをかけたハウス内 唐箕(とうみ)を使った作業(3月24日) こちらは脱芒機(だつぼうき)という機械 唐箕も脱芒機も自家採取した種籾を選別する機械です。種籾の殆どはJAさんから仕入れるため、これらの機械を使うことはありませんが、今回は北農研さんから昨年仕入れた新品種「ゆきがすみ」「ゆきさやか」の選別に使用しました。これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

インターネットで美味しいお米♪

(株)空知こめ工房 ホームページ

<http://www.sorachi-kome.jp/>

ブログ「生産日誌」更新中です(見て下さいね)